

瑞草区だより2017 PART II

アンニョンハセヨ。韓国ソウル市瑞草区にて派遣勤務をしている杉並区職員の小島綾乃です(小島さんは昨年12月末に帰国)。今回は、韓国の交通についてお話しします。

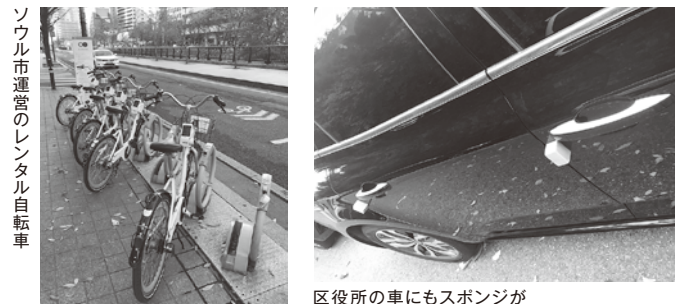
まず、電車は主に地下鉄のため階段が多く、特に高齢者や車椅子の方は大変かもしれません。日本と異なる点は、切符は紙ではなく再利用可能のカードで、時刻表や駅員を見かけたことはほぼありません。また、路線ごとに色分けされ、券売機は多言語対応なうえ、路線図から行き先の駅を選択できるため、韓国語が読めない方でも分かりやすいです。

バスは、慣れるまで時間がかかりました。時刻表は無く運行間隔のみが決まっているため、事前に正確な時間が読めません。とにかくペースが早いので乗車、下車時にはコツがあります。しかし、路線も多いため慣れれば非常に便利ですし、運転手によってはラジオや音楽が流れていて面白いです。大きな道路ではバス停が中央車線にあり、一部バス停にある電光掲示板には、どのバスが何分後に来るのかが表示されます。さらにアプリを使えば、バスの現在地が分かります。

基本料金は地下鉄とバスが120円前後、タクシーも初乗り300円程度と韓国が圧倒的に安く、地下鉄は65歳以上と障害者の方は運賃無料です。地下鉄やバス、タクシーでも使用可能なプリペイド式交通カードが非常に便利で、大多数が利用しています。地下鉄の乗り換えは追加料金なしで、距離

に応じて少額の追加料金があるのみです。一番驚いたのは、バス⇄バスまたは、地下鉄⇄バスの乗り換えも、30分以内なら無料になることです。

また韓国では、自転車は移動手段ではなく、公園等でレンタルして楽しむレジャーという感覚が強いため、街中ではあまり見かけません。ですが最近、レンタル自転車に乗る方をしばしば見かけるようになりました。これは、ソウル市が交通渋滞の緩和や環境保全、市民の健康促進などを目的に、2015年から始めたもので、このサービスをきっかけに、少しずつ自転車移動手段となっていくかもしれません。



ソウルでは駐車スペースが圧倒的に少ない等の理由から、ぎりぎりまで駐車したり、路上駐車を多く見かけます。もし自分の車が出せない、通れないといった場合には、フロントガラスに掲示された電話番号に連絡し、動かしてもらおうと知ったときにはカルチャーショックを受けました。さらに駐車する際も幅が狭いので、ぶつけた時の傷防止として、ドアにスポンジを貼っている車も見かけます。

交流協会からのお知らせ

外国人のための無料専門家相談会

(Free Professional Consultation for Foreigners)

お気軽にご相談ください。ビザ・結婚・離婚・仕事に関わる問題・年金・保険・税金に関する問題など、弁護士などの専門家が無料で相談をお受けします。秘密厳守。託児あり(要予約)。

【日時】1月27日(土) 13:00~16:00 (受付は15:30まで)
 【場所】セシオン杉並(梅里1-22-32)
 【専門家】弁護士・行政書士・税理士・社会保険労務士など
 【通訳】英語・中国語・韓国語・イタリア語・ポルトガル語・タイ語・ベンガル語・ネパール語(予定)
 【申込み】当日会場へ直接お越しください。予約も可

「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座

【日時】2月15日(木) 13:00~16:30
 【場所】杉並区役所6階 第4会議室(阿佐谷南1-15-1)
 【対象】英語による簡単な日常会話ができる方(概ね英検2級以上、TOEIC500点以上の方)おひとり1回限り。すでにボランティアとして登録された方はお申込み・受講ができませんのでご了承ください。
 【定員】60名(申込順)
 【参加費】無料
 【申込方法】講座名、住所、氏名、電話番号をE-mail、または電話にて杉並区交流協会まで(申込受付開始1月15日)

Event Information from SACE 交流イベント情報

国内交流自治体からのお知らせ

- ◆小千谷フェア
新潟県小千谷市の新鮮野菜や魚沼産コシヒカリなどの販売
◇日時: 1月28日(日)、2月25日(日)、3月18日(日) 11:00~13:30
◇場所: 小千谷学生寮駐車場(井草4-16-23)
- ◆小千谷ふるさと市場
新潟県小千谷市の特産品販売
◇日時: 3月12日(月) 10:00~14:00
◇場所: 区役所中杉通り側入口前
- ◆南伊豆町観光物産展
伊勢海老の味噌汁試食サービスほか、干物や海苔など南伊豆町の特産品販売
◇日時: 1月29日(月) 10:00~14:30
◇場所: 区役所中杉通り側入口前・1階コミュかるショップ前
- ◆蚕糸の森まつり
杉並区交流自治体合同物産展
◇日時: 3月25日(日) 10:00~15:00
◇場所: 蚕糸の森公園運動場・杉並第十小学校
※いずれも雨天実施。物産販売は売切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。
問合せ: 区役所文化・交流課交流推進担当 ☎03-3312-2111(代表)

交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費	会員特典	申込方法
<ul style="list-style-type: none"> 個人会員 1,000円/年(9月以降入会の場合は初年度に限り500円) 法人会員 20,000円/年 	<ul style="list-style-type: none"> ① イベントの情報や交流に関する情報紙[交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など]をお届けします。 ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。 ③ イベント参加費に会員割引があります。 	入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

HP・Facebook 随時更新!! 杉並区交流協会 検索

すぎなみ交流ニュース

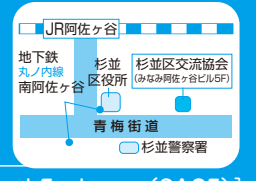
第47号 2018年1月

Suginami Cultural Exchange News

すぎなみ 교류 소식

杉並的交流消息

◆発行: 杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
 〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階
 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
 TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org
<http://www.suginami-kouryu.org/>



目次

- チェコフェア・すぎなみフェスタ2017 開催報告 2
- 南相馬体験ツアー報告・ネパール語入門講座ほか 3
- 瑞草区だより2017ほか 4

第15回 日本語スピーチ大会 発表者募集

発表者募集

日本に住んで体験したこと、驚いたこと、自分の国とは違うことなどを学んだ日本語を使って発表してくれる外国人の方を募集します。

日時: 2018年3月3日(土) 午後1時30分から5時まで
 場所: 座・高円寺2 地下2階(杉並区高円寺北2-1-2) JR高円寺駅より徒歩5分
 発表時間: 5分程度
 発表者募集人数: 10名
 テーマ: 日本に来て感じたこと、自分の国のことなど
 賞品: 優秀賞などの他、参加者全員に記念品
 締切: 2018年1月12日(金)
 (応募者多数の場合は選考し、1月末までにご連絡いたします。)
 申込方法: 申込書(協会HPに掲載)を郵送、Fax、またはE-mailなどでお申し込みください。

観覧者募集(募集人数: 200名) 入場無料

日本で暮らしている外国の方のお話を聞いてみませんか? 外国の方が感じたこと、体験したこと、出身国のことなどについて発表します。

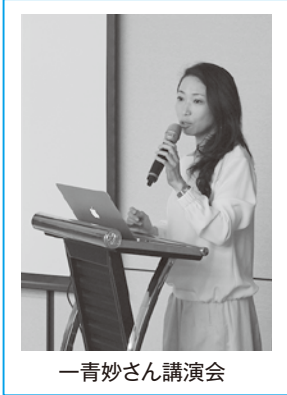
申込方法: 氏名(ふりがな)、住所、国籍、電話、お持ちの方はFax番号を記入して、電話(またはハガキ、Fax、E-mailなど)で杉並区交流協会までお申し込みください。



当日、津軽三味線と和太鼓演奏もあります! ぜひ、会場にお越しください。
 演奏者: 「匹田大智・橋口隆之・金刺由大 feat. ひむかし&疾風」

台湾友好親善ツアー報告

杉並区交流協会では2017年11月9日から3泊4日で台湾友好親善ツアーを行いました。今年は台南・高雄・台北を訪問しました。



台南では女優で台南市親善大使の一青妙さんによる特別講演会が開催されました。さらに翌日は一青さんの案内で台南市内を堪能しました。その後、南国ムードいっぱいの海の街、高雄市を訪問し、3日目には新幹線で台北に行き、市内観光を楽しみました。

今回のツアーは台北だけでなく、一青さんに台南の魅力案内いただき、日台の歴史を訪ねる旅となりました。

~参加者アンケートより~

- ★ツアーで印象に残っているものは?
1位 一青妙講演会 2位 奇美博物館 3位 佛陀記念館
- ★感想
◆初めてのアジア旅行。台湾の街、人々の活気にびっくり。
◆台湾の変貌ぶりは見違えるようでした。
◆台南市で大切にされている日本統治時代の建築物を見学し、改めて日本に対する台湾の人の想いを感じた。

海外文化セミナー チェコフェア

11月25日(土) 13:00~17:00 於: 杉並区立産業商工会館

今年はチェコ共和国と日本の国交回復60周年。チェコ政府観光局の協力による観光パネル展、チェコの雑貨やワインなどの販売、民族舞踊公演と「チェコの魅力」と題する講演でチェコを満喫しました。

参加者の中には仕事や観光でチェコを訪問したことのある方々がたくさんいらっしゃいました。「前はプラハ以北に行ったのですが、今回はモラヴィア地方を訪問してみます」「短時間でチェコの全体についてのお話が聞けて良かった」、「行ってみたいになりました」などの感想が寄せられ、チェコのファンが一段と増えたようです。

民族舞踊

舞踊団を率いていたのは田中すみ子さんと鶴沢とし子さん。お二人は学生時代からの友人で世界各国のフォークダンスを研究してきました。20年ほど前にチェコのダンスに魅せられて、これまでに40回ほど現地で指導を受け、日本でチェコの踊りを広めてきました。チェコのフォークダンスの魅力は「音楽の素晴らしさ」。「わが祖国」の作曲家・スメタナさんもダンスを踊るのでダンス曲もたくさん作曲しているのだと教えていただきました。

こぼれ話

「チェコの魅力」について講演されたベトル・ホリーさんは杉並区在住。チェコの国土は北海道よりも少し小さいです。かつては周囲をドイツ帝国、ロシア帝国、オーストリア＝ハンガリー帝国に囲まれ、宗教戦争など難しい歴史的試練を乗り越えてきました。17世紀に禁止されたチェコ語が復活したのは19世紀。厳しい状況をブラックユーモアやパロディで笑い飛ばすおおかさと戦争嫌いが自慢で、これがピロード革命(1989年)やスロバキアとの分離(1993年)を平和裡に成し遂げた要因でしょう。

チェコでは子どもの想像力を伸ばすために、各家庭で人形劇セットを用意しています。かわいいだけの人形ではなく、少し不気味さをもった人形の方が想像力を刺激するには適しているとのこと。週末は子どもたちを連れて人形劇を見に行きます。

1930年から1年間欧州見聞旅行をした民俗学者今和次郎さんが阿佐ヶ谷の妻に書き送った葉書はなんと370枚。その中にはプラハからのものも。当時の街並みと現在の街並みがそれほど変わっていないことが驚きです。近代化しつつも文化や歴史を大切に暮らすチェコを訪ねてみたいになりました。(広報部T)



↑チェコ民族舞踊団のみなさん↓



→ベトル・ホリーさん

↓チェコの人気キャラクターたち



▲メインステージ「ウルトラマンショー」を見ようとする子供たち

●特に今回は「子供たち」の来場者が増えた印象を受けました。「エアートランポリン」やメインステージの「ウルトラマンジード」などのショー、他、「遊び工作」などのテントや天体観測用の天文台車「ポラリス2号」は子供たちの行列で終始にぎわいをみせていました。



▲「エアートランポリン」～並んで順番を待ちます。

●杉並の魅力やよさが集結したようなステージやテントに充実感が感じられ、来場者は「原っぱ」の中で伸び伸びとフェスタを楽しんだ秋の二日間でした。

すぎなみフェスタ 2017

11月4(土).5(日)開催、10万6千人が訪れました。

●「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」をテーマに、「すぎなみフェスタ 2017」が「桃井原っぱ公園(桃井三丁目)」をメイン会場に開催されました。今年で5回目を迎え、昨年にも増すにぎわいの中、様々な企画が繰り広げられました。

杉並区交流協会は、例年「インターナショナルカフェ」を出店し、来場者を迎えてきました。そんな中、おなじみの方も含め、今回も数々の嬉しく、楽しい出会いができました。



▲「交流協会」～インターナショナルカフェとスタッフ

▲「交流自治体等物産展」～北塩原村の皆さん

(広報部Y)

南相馬市体験ツアーの報告

ツアーから学んだ被災地の現状

杉並区交流協会では、10月14日からの2泊3日で福島県南相馬市を訪れ、藍染体験、農作物の収穫、農家民宿への宿泊など田舎暮らしを体験するツアーを行いました。

被災地南相馬市

東日本大震災での地震・津波や原発事故の被害を受けて6年半が経ちました。しかし、津波で住む家は流され跡には、背高泡立草が生い茂り手付かずのまま。震災前に見えた海は、堤防をかさ上げしたため目の前はコンクリートの壁となっていました。放射能の風評被害により、作物が植えられていない田畑には、ソーラーパネルが敷き詰められ原発に頼らない生活を物語っているように感じられました。

南相馬市は、原町市、鹿島町、小高町の1市2町が合併して誕生した市ですが、震災で街は分断を余儀なくされました。特に原発事故被害により、発電所に近い小高は住民が街に戻れるようになったのは1年前で、まだ僅かな人しか戻っておらず、働き世代の若年層は人手不足になっているとのことでした。

こうした状況から見ると復興には、かなりの時間を要するのではと感じた被災地南相馬市でした。

被災後力強く生きる人々

鹿島農家のお母さんたち

震災後は原発被害で作物が作れない日々が続きました。その時東大の先生から藍を育てて藍染をやたらどうかというアドバイスがあり、始めたそうです。藍染で元気が生まれ働く意欲が出たようです。

作品は、常磐道鹿島インターにある、セデッテかしまにて販売され好評を博しています。美術学校の学生さんや私たちツアー

参加者も、お母さん方からの指導のもと藍染体験で各々が作品をつくり人との出会いや交流が生まれてきています。

●水耕栽培と加工品で風評被害を乗り切ったKAYANOKIファーム
KAYANOKIファームの代表只野さんは、水耕栽培と加工品で風評被害を乗り越え、全国的にも有名な方です。震災直後から震災復興に取り組む農業者の会を結成。イスラエル製の水耕栽培システムを導入してトマトの水耕栽培を始めて、震災から6年売上高は震災前とほぼ同じくらいになってきているそうです。ジャムなどの加工品も観光客向けに売り上げを伸ばし業績も回復してきているという現状から、こうした取り組みを地域の若手農業者に伝え、南相馬の農業振興に貢献されている姿に感動を覚えました。

小高で活躍する観光ボランティアと震災体験の語り部

観光ボランティアの安部さんの案内で津波被害にあった海岸を訪ねました。安部さんも津波被害にあった方ですから、当時の話はとてもありアリティがありました。

小高プラットホームでの語り部の廣畑さん(小高を応援する会代表)からは、帰れなかった5年間の話を聞き、更なる支援の輪が必要と感じました。

津波や原発で被害を受けたお二人の話は胸を打つものがあり、前に向かって頑張っている姿に応援したくなりました。

被災地で頑張る人々と触れ合い、民宿のお母さんが作った野菜をふんだんに使った田舎料理にお腹を膨らませ、市民との交流を楽しみ、これからも南相馬に心を寄せていくことを誓った3日間となりました。



体験で作った藍染を披露

講師紹介 カティワダ・ザヌカ先生

今回の講座を担当されたカティワダ・ザヌカ先生にお話を伺いました。ネパールの大学を卒業後結婚、3年半前に来日。好きな食べ物はたこやきとお寿司。日本にきたきっかけ 夫が10年前から住んでいたからです。日本語はネパールで少し習い、日本に来てからはYouTubeなどで覚えました。今は奨学金を受けながら大学院の博士課程で学んでいます。



カティワダ・ザヌカ先生

日本の印象 電車、24時間営業のコンビニ、自動販売機はネパールにありません。日本に来て初めてみました。それと街がとてもきれいです。ネパールでは働かなくても生活ができます。どの家も土地、家があります。家族のうち一人が働くだけで、みんなが生活できます。でも、日本は働かないと生活ができない。私は研究生として日本にきたので、その時はファーストフード店などでアルバイトしました。

将来の夢 大学院ではネパールの女性が受ける暴力について研究しています。将来は、ネパールに帰り、そういう女性たちのために何かやりたいと思っています。そのために、勉強が終わっても2~3年は日本で働きたいと思っています。

外国人とのやさしい日本語コミュニケーション講座

深田みのり先生

杉並区交流協会では、語学に関わる講座を様々行っています。その一環として第4回外国人とのコミュニケーション講座を11月15日杉並区役所分庁舎3階で開催しました。講師は前回と同じ深田みのりさん、受講者は外国人と接する機会が多い杉並区区民課の17名でした。やさしい日本語とは「ウチ向きの日本語」から伝えやすい「みんなの日本語」にするという話、やさしい日本語の言い換えのコツ、コミュニケーション技術向上などの講義の後、杉並区交流協会の外国人ボランティア8名がグループに入り会話実践が行われました。

区民課の方からやさしい日本語での自己紹介の後、外国人ボランティアの方から区役所に期待するサービスをテーマに和やかな雰囲気の中、ディスカッションが行われました。

参加者からは、自分の日本語がいかに伝わっていなかったのかが分かった、また「お預かりします」「1度もらいます。後で返します」と言い換えた方が伝わりやすいと聞き、言い換えの難しさを感じましたなど、区民課ならではの意見が寄せられ、日本語をみんなの日本語にしてゆく大切さを感じる1日になりました。(広報K)



講師と外国人ボランティアのみなさん